

# 平成26年度函館市水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

平成26年度の給水人口は、前年度に比べ2,872人減少し269,225人となり、給水普及率（給水区域内人口に対する給水人口の割合）は99.9%となった。

また、水道1日平均給水量は、前年度に比べ1,696立方メートル減少し、93,401立方メートルとなり、温泉1日供給量は、前年度に比べ107立方メートル減少し、3,849立方メートルとなった。

事業収益については、給水需要の減少により水道料金が減少したものの、長期前受金戻入の増加等により、前年度に比べ194,473,644円の収入増（4.4%増）となり、総額で4,588,822,915円となった。

事業費用については、退職給付費、減価償却費の増加等により、前年度に比べ1,298,059,740円の支出増（31.7%増）となり、総額で5,393,090,937円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ1,103,586,096円減少し、804,268,022円の純損失を生じた。

建設改良事業については、売電設備事業において小水力発電設備整備工事を平成26年度から2箇年の継続事業として着手したほか、原水及び浄水施設事業では赤川低区浄水場2系ろ過池の整備等を、配水施設事業では配水管整備事業等を、簡易水道施設事業では戸井浄水場機械電気計装設備の更新等を、温泉供給設備事業では温泉供給管の布設替工事等を予定どおり施行した。

なお、平成26年度予算決算から地方公営企業会計制度の見直しが行われたため、改定後の地方公営企業会計基準を適用しているほか、平成26年4月1日からの消費税率改定に伴う水道料金の改定を平成26年6月以後の月分として徴収する料金から、温泉供給料金の改定を平成26年4月以後の月分として徴収する料金からそれぞれ実施した。